

利用成果報告書

- 1 課題番号 H30-009
- 2 報告者 國枝武和 東京大学大学院理学系研究科
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 クラムシ固有の熱可溶性タンパク質SAHSのオリゴマー化の解析
- 5 使用装置名 タンパク質精製システム AKTAexplorer
- 6 利用期間 平成 30 年 11 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日
- 7 利用成果・実績の概要 当研究室で精製したリコンビナントSAHSタンパク質を用いてオリゴマー化の解析を行ったところ、先行研究とは異なりダイマーを示すピークが現れなかった。先行研究とN末端側の配列が異なる為、その影響が考えられる。今後、内在性SAHSタンパク質を用いたオリゴマー化解析を行う予定である。
- 8 社会・経済への波及効果 SAHSタンパク質のオリゴマー化解析から、SAHSタンパク質の乾燥耐性付与メカニズムの一端が明らかにする事を目指している。この乾燥耐性メカニズムが理解することで、将来細胞の乾燥保存技術などに応用出来ることが期待される。
- 9 学会等における口頭・ポスター発表 該当無し
- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当無し